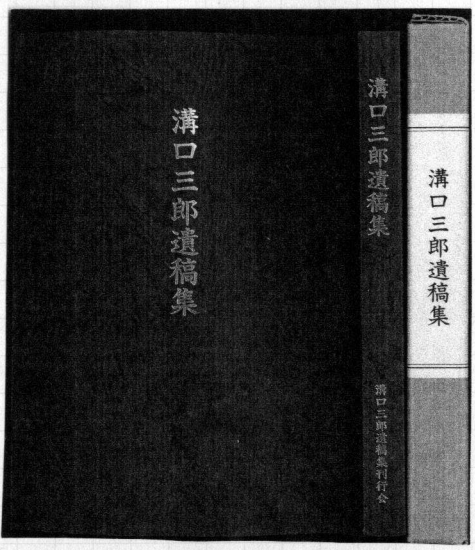


溝口二郎 ミヅグチ ニロウ 漆工藝家、美術装置家。明治二十九年八月十日東京
麻布生れ、昭和四十八年一月一日歿（八六―一九七三）。大正十年東京美
術学校漆工科本科卒。十二年帝室博物館の依頼により國寶時繪の模造
に従事。昭和二年回館（のち東京國立博物館）美術課嘱託となり、爾
後御用掛、文部技官、工芸課長に進み、二十六年辭職。また東京藝術
大學講師、中尊寺金吾堂修理委員を務め、正倉院御物漆工藝調査に當
り、ホテルオークラ意匠委員として館内装飾を擔當した。一方早くか
ら演劇、映畫界でも活躍。新劇協會、築地小劇場の舞臺装置の構成に
携はり、村田實監督作品「奉仕の蕃藪」（大正十年封切）を初めとし
て映畫美術と手掛けた。生涯獨身。化學者溝口歌子は姪。
生前美術関係書數點を著はした他、『溝口二郎遺稿集』（荒川浩和編、
昭和六十一年七月溝口二郎遺稿集刊行会）がある。



溝口二郎遺稿集